| 学校番号 | 3010 |
|---|---|

令和8年度　　工業　　科

| 教科 | 工業 | 科目 | 課題実習Ｂ（建築） | 単位数 | 4 単位 | 年次 | 3 年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 自主編成教材 | | | | | | |
| 副教材等 | なし | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

| |
|---|
| 各建築実務にかかわる３つの実習・実験を班に分かれてローテーションで行います。グループで行う実習が多くを占めているので、積極的に取り組むことが大事です。レポートは必ず期日までに提出してください。 |

2　学習の到達目標

| |
|---|
| 【知識及び技能】 |
| 各種建築実務の実験・実習をとおして、建築実務の特性を理解する。 |
| 【思考力、判断力、表現力等】 |
| 各種建築実務の実験・実習に用いる機材の使用法とそれにともなう技術を習得する。 |
| 【学びに向かう力、人間性等】 |
| 各種建築実務の実験・実習をとおして技術者としてのリテラシーを習得する。 |

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a：知識・技術 | b：思考・判断・表現 | c：主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 建築実務に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、課題に取り組むことを通して社会に対する建築の意義や効果を理解し、設計者の役割と責任を理解している。創造的・合理的な選択・加工ができ、それを適切に人に伝える技能を活用し、表現できる。 | 建築実務に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識をもとに実践的な事例に対して設計者として適切に判断し表現する創造的・合理的な能力を身に付けている。 | 建築実務に関する課題について関心を持ちそれらの課題や実に主体的に取り組もうとするとともに創造的・合理的に考える態度を身に付けている。 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | |

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元（題材）の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1・2 | 材料実験 | セメントの強さ試験<br>コンクリートの材料理解<br>コンクリート調合設計<br>コンクリート破壊試験<br>（せん断・圧縮）<br>鉄筋引張試験 | a.各実験における適切な実験方法を選択し、用具の適切な取扱ができる。実験結果を、適切に処理し記録できる。<br>b.観測結果の取扱や誤差の判定に関する判断ができる。<br>c.材料試験の方法の習得に意欲的に取り組む。 | 学習状況の観察 | 課題の取組状況<br>プリントの記述・提出状況 | 課題の提出状況 |
| | 実務ＣＡＤ演習 | ・建築実務とCAD<br>AutoCADの基本操作<br>AutoCADによる図面入力<br>平面図　立面図　断面図<br>AutoCADによる図面のレイアウト | a: 実務CADについて関心を持ち、基礎的・基本的な技術を身に付け、社会における建築の意義や役割を理解している。<br>b: 実務CADの基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。<br>c: 実務CADの基礎的・基本的な技術を身に付け、建築に関する諸活動を合理的に計画し、創造的に学ぶ態度を身に付けている。 | | | |
| | 測量実習 | 水準測量<br>レベルの取り扱い<br>測角測量<br>トランシットの取り扱い | a.各種観測における、適切な観測方法を選択し、用具の適切な取扱ができる。<br>b.観測結果の取扱や誤差の判定に関する判断ができる。<br>各種観測における観測結果を、適切に記録し処理できる。<br>c.測量方法の習得に意欲的に取り組む | | | |
| 3 | 応用知識の学び | 応用知識の習得<br>プレゼンテーション<br>材料の特性<br>材料の加工・組立<br>プレゼンテーション<br>校外学習 | a.建築や道具についての技能・知識を理解している。<br>b.学内コンペや応用建築士知識の修得、制作に必要な知識と、課題に対し適切に判断し解決策を判断できる。<br>c.学内コンペや応用建築士知識の修得、制作に必要な知識の習得に意欲的に取り組む。 | 学習状況の観察 | 課題の取組状況<br>プリントの記述・提出状況 | 課題の提出状況 |

※　表中の観点について
a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度